

(卷末) 用語解説

用語解説

ア I s 値

建物の耐震性能を表す指標。一般にこの数値が大きいほど耐震性能が高い。建物の強度や粘り強さ、形状、経年状況等を考慮して算出。

ICカード

情報の記録や演算をするために半導体集積回路（ICチップ）を組み込んだカード。従来の磁気カードと比べ情報容量が格段に増加する。

ICT

Information and Communication Technologyの略。情報通信技術。

IT

インフォメーション・テクノロジー（Information Technology）の略。情報処理、情報技術。

あいワーク

ハローワークと札幌市が協力して運営する職業相談・紹介や就職活動全般に関する相談に応じる窓口。

新しい公共

公共サービスを市民自身やNPOが主体となり提供する社会、現象または考え方。これまでの公共サービスは、行政が提供する立場、市民は供給される立場であったが、新しい公共では市民も公共サービスの提供者となること、行政は市民に場を提供し、信頼し、権限を譲り移すことが求められる。

アワード

賞、栄誉のこと。

あんしん賃貸住宅

高齢者等の民間賃貸住宅への円滑な入居支援を目的としたもので、高齢者等の入居を受け入れる民間賃貸住宅として北海道に登録された住宅を指す。

イ 一時保護所

児童の心身の健全な成長・育成にとって望ましくない環境から児童を一時的に保護するための施設。

一般廃棄物

家庭から排出される「家庭ごみ」と、事業所から事業活動に伴って排出される「事業ごみ」のうち、産業廃棄物を除く「事業ごみ」の総称。

移動支援

屋外での移動に著しい制限のある、居宅で生活している障がいのある方に対し、社会生活上必要不可欠な外出および社会参加を行うための外出支援。

医療的ケア

たんの吸引や鼻などから管を通して栄養剤を流し込む経管栄養などの医療的介助行為。

インターンシップ

学生が一定期間企業等の中で研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行える制度。

ウ ウェットラボ

生物や化学などの実験を行うため、液体を取り扱えるように、換気機能や給排水等の設備が整備された試験・研究室。

エ ALT

アシスタント・ランゲージ・ティーチャー（Assistant Language Teacher）の略。学校における外国語授業の補助を行う外国人。

エコ診断ソフト

家庭における電力・ガス・灯油等の使用量をもとに、CO₂削減対策やその効果を分析・評価するソフトウェア。

エコドライブ

地球環境にやさしい自動車の運転。

エコライフ

エコロジカルライフ（ecological life）の略。環境に与える負荷を少なくすることに配慮した生活。

NPO

ノンプロフィット・オーガナイゼーション（Non-Profit Organization）の略。民間の非営利組織のことを言う広い概念。一般的には、継続的、自発的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体の総称。

エリアマネジメント

一定の地域（エリア）における、安全・安心・美しさ・豊かさなど、環境の維持・向上・管理を実現していくための地域住民・事業者・事業者・地権者などによるさまざまな自主的取り組み。

オ 汚染区域、非汚染区域

ここでは、野菜などを洗浄する区域と調理する区域。

汚泥圧送管

下水をきれいにする過程で発生する汚泥を処理するために、水再生プラザ（旧下水処理場）からスラッジセンター（汚泥処理場）まで、汚泥をポンプで圧力をかけて送るための管。

オレンジリボン

児童虐待のない社会の実現を目指し、児童虐待防止の普及・啓発を行う市民運動のシンボルマークで、オレンジ色は子どもの明るい未来を表している。

温室効果ガス

地表面から宇宙空間に放出される熱の一部を吸収し、大気温の上昇を引き起こすガス。主なものにCO₂、フロン、メタンなどがある。

カ ガーデニング

草花を植栽したり、柵や石畳などで装飾するなどの庭造りのこと。

カウンセリング

個人の悩みを聞き、問題解決のための支援や助言を与えること。

簡易型災害図上訓練（DIG）

地図を用いて災害が発生する事態を想定し、危機が予測される地帯または事態を地図の上にかけた透明シートの上書き込んでいく参加型訓練。DIGとは、Disaster（災害）、Imagination（想像力）、Game（ゲーム）の略。

キ 基幹系情報システム

一般的には、企業がビジネスを遂行するために不可欠な主要業務を処理するために用いられているコンピュータシステムのこと。札幌市にとっての基幹系情報システムは住民記録や税、福祉などの市民サービスの根幹を担う業務システムのことをいう。

基地局、統制局

防災行政無線を構成する無線局等のうち、基地局は全市域において円滑に通信を行うための装置を設置している施設であり、統制局は運用を管理するための無線設備。

キャリアカウンセリング

幅広い職業や心理学などの知識をもとに、個人の適性をみながら相談を行うこと。

救急告示医療機関

救急医療を行うために必要な設備を有し、救急医療の知識や経験を持つ医師が常時診療している医療機関として北海道知事が認定したものをいう。現在、市立札幌病院など70施設を認定。

ク 区民協議会

区内のさまざまな団体等の代表者などで構成した、区民意見の調整や合意形成を行うための組織。

クリエイター

創造的な仕事をしている人。作家。制作者。

グループホーム

主に夜間や休日において世話人による相談支援や日常生活上の援助を受けながら、地域での共同生活を送る住まい。

グローバル化

人、物、資金、情報の国境を越えた移動が地球規模で盛んになり、政治や経済などさまざまな分野での境界線がなくなることで、相互依存の関係が深まっていく現象。

ケ ケアホーム

主に夜間や休日において世話人や生活支援者による入浴・排せつ・食事の介護などを受けながら、地域での共同生活を送る住まい。

携帯端末

スマートフォン（パソコン並みの多彩な機能を持つ携帯電話）やタブレットパソコン（平板状で携帯可能なパソコン）など。

研究推進校

学校教育を改善充実するため、教育課題の解決に向けた効果的な取り組みや実施上の課題を、授業などを通じて実践的に研究する学校。

健康づくりサポーター

地域で活動する団体等に健康づくりのノウハウを指導する人材。

コ 喉頭鏡

心肺停止時に気道が詰まったりした場合等に、気管に直接チューブを通して気道を確保するために使用する器具。

コーディネーター

物事の調整・まとめ役。

コールセンター

電話やインターネットを通じて、問い合わせの対応や商品の受注などの顧客対応業務を専門的・集約的に行う組織・施設。

国際芸術展

世界中の芸術家の作品展示を行うとともに、講演会など芸術家と住民・観光客が交流する各種プログラムを実施するため、世界各国で開催されている文化芸術イベント。世界ではベネツィアビエンナーレ（隔年開催）が有名。日本では横浜トリエンナーレ（3年に1回開催）、神戸ビエンナーレなどが開催されている。

国際戦略総合特区

総合特別区域法に基づく総合特区の一つ。日本経済を牽引することが期待される産業の国際競争力の強化を目的として、産業・機能の集積拠点等を形成する特区。

子育てサロン

子育て中の親子が気軽に集い、自由に交流や情報交換ができる場。

子どもの権利推進アドバイザー

札幌市の施策等に子どもの権利の視点を取り入れることを促進するため、主に市職員を対象として、さまざまな見地から指導や助言を行う専門家。

コミュニティ

地域課題に共同して取り組む個人や団体の集合体。

コミュニティカフェ

喫茶店などの形式をとりながら、地域社会の中で「たまり場」「居場所」となっているところの総称。

コンサルティング

専門家の立場から相談にのったり指導したりすること。

コンテナガーデン

さまざまな容器に草花を寄せ植えしてつくる栽培法。

コンテンツ

文章、音楽、画像、映像またはそれらを組み合わせた情報の集合のこと。

コンテンツ特区

総合特別区域法に基づく総合特区の一つ。地域の活性化を目的として、コンテンツを最大限活用して地域力の向上を目指す特区。

コンパクトシティ

従来のような人口増大が見込めない状況下において都市の活力を保持する政策の一つで、市民生活に必要な多様な機能が集積している都市の形態。都市の拡大を抑制し、都心部や各拠点の土地の高度利用により、職住近接による交通渋滞の緩和・環境負荷の低減が見込まれるだけでなく、近郊の緑地や農地の保全が図られるとされる。

コンプレックス

複合。複合体。

コンベンション

国際機関・団体等が主催する国際会議や全国規模の大会や学会。

サ 再生可能エネルギー

太陽光、地熱、風力など一度使用しても再び同じ形態で利用することのできるエネルギーの総称。

さっぽろ広域観光圏

札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村の8市町村で構成。圏域内の周遊・滞在型観光を推進するためのしくみづくりや商品の造成、PRを連携して実施。

札幌市災害時基幹病院

収容能力に応じて、可能な限り重症傷病者の受け入れを行い、緊急手術などの必要な医療を提供する病院として札幌市長が指定したものをいう。現在、市立札幌病院など13施設を指定。

さっぽろ農学校

新たな農業の担い手や農業応援団の育成を目的として、札幌市が開催する講座。

札幌まちづくりパートナー企業

札幌市とまちづくりに関して協力体制を構築するための包括的な協定である「さっぽろまちづくりパートナー協定」を締結している企業。平成20（2008）年度より実施。

さぼーとほっと基金

市民からの寄附を札幌市が募り、町内会・ボランティア団体・NPOなどが行うまちづくり活動に助成。平成20（2008）年に設置。

シ CSR

コーポレート・ソーシャル・レスポンシビリティ（Corporate Social Responsibility）の略。企業の社会的責任。法令遵守や社会貢献など、一般に企業が社会に対して果たすべき責任。

CO₂（の）見える化

CO₂の削減効果を実感しやすくするため、さまざまな活動に起因するCO₂排出量を可視化する取り組み。

（成年後見制度の）市長申立

判断能力が不十分な方について、財産管理や身上監護における保護が必要になり、原則4親等以内に成年後見制度の申し立てをする親族がいない場合に、市長が成年後見の申し立てを行う制度。

シティPR

都市の知名度やイメージの向上を図るための各種PR。

シティプロモート

地域を持続的に発展させるために、地域の魅力を地域内外に効果的に訴求（発信し意欲に働きかける）し、それにより、人材、物財、資金、情報などの資源を地域内部で活用可能としていくこと。

シミュレーター

疑似体験や模擬演習を行う装置。

住記系システム

札幌市のコンピュータシステムのうち、主に住民記録や印鑑証明等に関連する業務を行うもの。

住区基幹公園

身近な生活圏に整備される街区公園、近隣公園、地区公園。

樹冠形成

街路樹の枝や葉の茂っている部分（樹冠）をみどり豊かな姿に育て保つこと。

循環型社会

廃棄物の発生抑制、循環的な利用、適正処分により天然資源の消費を抑制して環境への負荷ができる限り低減される社会。

食育

安全な「食」に関する知識と「食」を選択する力を身につけ、望ましい食生活を送ることができる人を育てること。

ジョブサポーター

障がいのある方の就労支援や職場定着を図るために、職場に出向いて障がいのある方や雇用主に助言などを行う支援員。

新エネルギー

石油など従来型のエネルギーあるいはエネルギー・システムと異なり、資源的制約や環境への影響が少ないエネルギーの総称。

シンクタンク

さまざまな領域の専門家を集めて、社会開発や政策決定などの複合的な問題や未来の課題を研究する機関。

ス スクールカウンセラー

児童生徒の不安や悩みの相談にあたりとともに、保護者・教員などに対し子どもとの関わりについて助言・支援を行うため、学校に配置される臨床心理士などの心の専門家。

スクールソーシャルワーカー

社会福祉の専門的な知識、技術を活用し、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて支援する専門家。

スポーツツーリズム

スポーツ観戦、スポーツイベントへの参加やスポーツボランティア参加などのスポーツ資源を最大限に活用した訪日旅行・国内観光の活性化を図るための取り組み。

セ 税・国保・収納・滞納システム

札幌市のコンピュータシステムのうち、主に税金や国民健康保険に関連する業務を行うもの。

生活介護

常に介護を必要とする方に、昼間、入浴・排せつ・食事の介護等を行うとともに、創作的活動または生産活動の機会を提供する障害福祉サービス。

成年後見制度

判断能力が不十分な方を保護するための制度。家庭裁判所の審判による法定後見と、本人が委託契約を結ぶ任意後見がある。法定後見人の主な業務は財産管理と身上監護であり、申立は4親等以内の親族を原則としている。

生物多様性

地球上の多種多様な生き物すべてがそれぞれ支え合い、つながり合いながら生きている状態を表した概念であり、「森林や河川などさまざまな環境があること（生態系の多様性）」「いろいろな生き物がいること（種の多様性）」「それぞれの種の中でも個体差があること（遺伝子の多様性）」の3つの多様性がある。

ソ 創世1.1.1区

大通西1丁目、大通東1丁目、北1条西1丁目の街区を表す。一般公募により命名。

創造都市

市民の創造活動を育み、地域のさまざまな課題を市民と共に解決する新たな都市経営戦略。都市の魅力や交流の資源、触媒でもある文化芸術の「創造性」が、新たな創造的産業をふ化させるなど、都市の活力および再生の基盤が、創造性に基づく新たな価値観やライフスタイルの創出にあるとする考え方。

創造都市さっぽろ

創造都市を目指した札幌市の取り組みであり、文化芸術の多様な表現に代表される創造性を活かした産業振興や地域の活性化、多様な交流を図るもの。

タ 待機児童

認可保育所への入所を希望し、市に申込書を提出している子どものうち、入所要件を満たしているにもかかわらず入所できずにいる子ども。

耐震壁

構造物が地震に耐えることができるように、新たに設置または補強した壁。

タウンガーデナー

花やみどりに関するまちづくり活動に取り組むこととして札幌市に登録したボランティア。ボランティアを中心とした情報共有やネットワークづくりを通して花とみどりのまちづくりを推進する。

チ 地域福祉力

地域住民、関係機関、行政などの協働により、高齢者・障がい者の安心・安全な生活を地域全体で支えていく力。

超高齢社会

65歳以上の人口が総人口に占める割合が21%を超える社会。

テ 低炭素社会

地球温暖化の原因となるCO₂などの排出量を最小化した社会。

電子書籍

電子機器のディスプレイで読むことができる書籍。

ト 特定健康診査

平成20年4月から始まった40歳から74歳の国保など医療保険加入者を対象とした、生活習慣病予防のための健康診査。

特別支援教育

障がいのある幼児児童生徒の自立や社会参加に向け、一人一人の教育的ニーズを把握して、適切な教育的支援を行うもの。

特別な配慮を要する子ども

ここでは、虐待など不適切な養育環境で育った子どもや障がいのある子ども、ひとり親家庭の子どもなどのことを指す。

特別養護老人ホーム

要介護1以上の原則65歳以上の方が、身体上または精神上に著しい障がいがあるために、常時の介護を必要とし居宅において介護を受けることが困難な場合に入所する施設。

都市環境林

良好な生活環境を形成している樹林地として公有化され、自然とのふれあいの場となっている緑地。

ニ ニート

仕事に就いておらず、就職活動もしていない若者のうち、家事も通学もしていない人。

二条化・ループ化

複数ルートを確認する場合に、二つの施設間を二つの異なるルートでつなぐことを二条化、また、3以上の施設を環状につなぐことをループ化という。

ニュービジネス

ここでは、主に企業の人事、総務、経理などの事務処理およびデータ入力などの情報処理を行う事業を指す。

認知症

後天的な脳の疾患などを原因として、正常に発達した知的機能が低下し、記憶・判断力などに障がいが起こった状態。

ハ バーチャル

仮想・疑似的

バイオ

バイオテクノロジーの略。生物工学。生物を工学的見地から研究し、応用する技術。

ハイブリッド

ハイブリッド自動車のこと。エンジンとモーターなど、複数の異なる動力源を組み合わせた自動車。

バックアップシステム

ここでは、二つの施設間を二つの異なるルートでつなぐなどして、地震等の災害に備えること。

バリアフリー

高齢者や障がいのある人などが、社会生活をしていく上で障壁となるものを除去すること。道路、建物、交通手段など物理的なものだけではなく、社会的、制度的、心理的なものを含めたすべての障害をなくすことを意味している。

バリアフリー住宅

ここでは、高齢者や障がいのある人などが、支障なく日常生活を送ることができるよう、床の段差解消や階段の手すり設置などの配慮のなされた住宅。

ヒ ビジネスモデル

ビジネスのしくみ。事業として何を行い、どこで収益を上げるのかという利益を生み出す具体的なしくみ。

フ ファミリーホーム

保護者のない子どもや虐待されている子ども、その他保護者に監護させることが不適当な子どもを、一定の資格を持つ養育者の住居等を利用して少人数（5～6人）の家庭的な環境の下で養育する施設。

ブース

間仕切りをした場所や小部屋のこと。

複本

ここでは、読み合わせ等の際に同時に多人数で使用するため、同じ本を2冊以上所蔵することを指す。

プラグインハイブリッド

プラグインハイブリッド自動車のこと。ハイブリッド自動車の一種で、搭載バッテリーに外部より充電できる機能を持つ自動車。

フリースクール

不登校の子どもたちの受け皿として、学習支援や体験活動などを行うため、個人やNPOなどが運営する学校以外の安心できる学びの場、居場所の総称。

ホ 防災リーダー

防災活動計画の企画・実施など、自主防災活動の中心的な役割を担う者。防災リーダーは、連絡調整、各種防災訓練の企画、地域住民の防災意識の把握に努めることとなっている。

報奨旅行

企業が従業員等の努力や勤労に報いて実施する旅行。

マ M I C E

Meeting(会議)、Incentive travel/tour(報奨旅行)、Convention(国際会議・学会)、Event/Exhibition(イベント・展示会)の頭文字をとった造語。マイルス。

まちづくりセンター

住民組織の振興、地区の要望などの収集、市政の周知、戸籍や住民票の取り次ぎなどに加え、さまざまなまちづくり活動を支援する地域の拠点として市内に87箇所設置。

マッチング

組み合わせること。

メ メディア

媒体。新聞や雑誌、テレビ、ラジオのほか、インターネット、Webサイトなど。

モ 木質バイオ燃料

間伐材や製材端材、廃木材などを原料とする燃料。

ユ ユネスコ創造都市ネットワーク

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が、文学、映画、デザイン、メディアアートなど7つの分野から、世界でも特色ある都市を認定し、その都市間交流を通じて文化産業の強化による都市の活性化および文化多様性への理解促進を図る取り組み。

ヨ 要介護高齢者

寝たきりや認知症、身体が不自由などのため、日常生活を送るために支援を必要とする高齢者のこと。要介護認定で要支援・要介護と認定された者も含まれる。

ラ ライフステージ

人間の一生において節目となる出来事(出生、入学、卒業、就職、結婚、出産、子育て、退職や年齢等)によって区分される生活環境の段階。

ライフライン

電気、ガス、水道、下水道、電話など、日常生活を送る上で必須の諸設備、供給線をいう。

ロ ロケーション

ここでは、屋外での撮影。ロケ。

ワ ワークショップ

専門家の助言を受けながら、参加者が共同で研究や創作を行う場。

ワーク・ライフ・バランス

やりがいのある仕事と充実した個人生活が調和したバランスの良い働き方。